

# 平成25年度 事務事業 検証改善会議の結果

市では、現在実施している事務事業の改善を行い次年度以降の実施につなげていくため、事務事業の評価に基づき各部から選定された32事業について、事務事業内容の検証と改善について話し合う事務事業検証改善会議を昨年8月から10月にかけて5日間実施しました。会議の中では外部アドバイザーから多くの改善提案についてのご意見をいただき、担当課においてこれらの意見を検討しましたので、結果をお知らせします。なお、詳細については市ホームページをご覧ください。

番号	事務事業名	担当課	次年度以降の改善方向	改善効果額(千円)
1	大田原市民の海外研修事業	政策推進課	男女共同参画のリーダー養成研修であった海外研修をいったん休止し、「男女共同参画意識の底上げ」と「協働」意識の浸透を目標とする研修内容とします。	3,000
2	職員安全衛生管理事業	総務課	健康診断の受診率向上に努め、健診後の要精検査者の報告を義務化します。 メンタルヘルス対策として「メンタルヘルスチェック教育プログラム」などを行います。 職場巡視の回数を増やしていきます。	改善効果算定不可
3	インターネットアクセス網整備事業	情報政策課	大田原市地域ICT総合推進計画に基づき、関係各課においてサービスメニューの提供、支援制度などについて検討し、加入促進につなげていきます。	5,407
4	防災対策事業	危機管理課	事業所に「大田原市企業防災に関するアンケート」を実施し、地域住民との協力体制、備蓄品管理調達連絡体制の構築を検討します。 防災リーダーとなる防災士を育成し、自主防災組織結成促進のため、地域住民対象の防災出前講座を担当できるよう防災士の研修会を実施します。	3,807
5	安心生活創造事業	高齢者幸福課	市内12地区すべてに見守り組織を構築します。	改善効果算定不可
6	敬老事業	高齢者幸福課	敬老会補助金、敬老祝い金について、平成26年度中に見直しを行います。	
7	ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業	高齢者幸福課	将来、委託事業として実施することも含め、社会福祉協議会と協議を行います。	
8	自殺対策事業	健康政策課	平成25年12月から市民を対象としたカウンセリングを行い、また、傾聴ボランティアを有効に活用していきます。	
9	健康教育事業	健康政策課	健康教育事業の目標指標について、第2次健康おおたわら21計画での評価指標となる成人保健事業の評価を活用していきます。	
10	チャイルドシート購入費助成事務	子ども幸福課	助成の廃止を考えていましたが、代替えとなるチャイルドシートのリサイクルについて検討した結果、現在の助成制度を継続して実施することとしました。	0
11	母子福祉事務	子ども幸福課	母子福祉事務のひとつである「ひとり親等新入学児童(生徒)入学祝い金支給事業」について廃止の方向で検討しましたが、母子家庭の収入が低いままであるため継続して実施することとしました。	0
12	大田原市民号運行事業	商工観光課	市民号での訪問先の人々との交流の場を設けたり、募集パンフレットを工夫するなど改善して参加人数を増やしていきます。平成26年度(第30回)の実施で一区切りとし、平成27年度以降は、必要に応じて目的を明確にして不定期に実施します。	954

番号	事務事業名	担当課	次年度以降の改善方向	改善効果額(千円)
13	勤労青少年ホーム運営事業	商工観光課	事業所へのアンケートを実施し、より青少年のニーズにあった講座を設けることにより、現在よりも利用人数を増やしていきます。 講座のない昼間の時間帯に、利用対象者以外の特別利用者が利用できることをPRし、利用にあたっては料金を徴収していきます。 当ホーム以外に、市民交流センター、生涯学習センターなどにおいて、求職情報を提供できる環境を整備していきます。	112
14	南方古民家管理運営事業	商工観光課	「定住」ではなく「観光(体験)」に焦点を絞り、大田原ツーリズムと連携を図りながら、地域住民と交流ができる企画(「そば打ち」など)を催していきます。	93
15	レストラン牧場管理事業	農政課	道の駅と一体となった指定管理とし、やすらぎの湯と共存でき、お互いのメリットとなるような施策を立て、新規・リピーターの数が増えるサービスを提供できる施設を目指します。	4,296
16	佐良土多目的交流センター運営事業	農政課	土日祝日の直売所・物産店としての利用について調整を図るとともに、市のプロモーションを流すなどして市の情報発信を行っていきます。	改善効果算定不可
17	農道整備事業	農林整備課	優先順位決定の参考とするため、要望路線の状況を把握できるチェック表の作成を検討します。 農地・水制度の対象外の地域については、原材料を支給して整備を行う事業が実施可能かどうか検討します。 整備後の効果測定として、利用状況の把握や地域住民の意見聴取を積極的に行っていきます。	
18	平地林等保全対策事業	農林整備課	隣接する自治会へのアンケート調査を実施し、利用者ニーズを把握します。 管理にあたっては、地元住民・団体の活動の充実を図ります。 大田原市新エネルギービジョンに基づき、各種新エネルギー関連事業に合わせて補助事業を検討していきます。	700
19	学校給食センター運営事業	教育総務課	賄い材料費を除いた経費の節減に努め、1食あたりのコスト削減を図ります。 食材については、地産地消の割合を高め、食育推進に努めます。 学校給食センター運営委員会において、衛生管理・1食当たりのコストについてチェック機能を持たせます。	改善効果算定不可
20	学校図書館活性化推進員配置事業	学校教育課	「大田原市こども読書活動推進計画」に基づき、貸出管理のIT化の準備を進めます。 市立図書館と連携し、図書の検索予約を行い、団体貸出数の増加に努めます。	
21	小学校教育活動指導員配置事業	学校教育課	複式学級の該当校間でより綿密な情報交換を行い、指導員の指導力向上と学級担任の連携強化を図り、よりよい指導員の配置につなげていきます。 指導にあたっては、配備済の校務用パソコンを活用し、事務効率・指導成果の向上に努めます。	



番号	事務事業名	担当課	次年度以降の改善方向	改善効果額 (千円)
22	市民大学開講事業	生涯学習課	開催場所を生涯学習センター(旧大田原市立図書館)に移し、テーマに沿った移動教室を実施します。 国際医療福祉大学以外の大学とも連携をとり、講座内容を充実させます。 生涯学習市民意識調査を基に、学んだ知識を活かし社会参画ができるような内容・カリキュラムを設けていきます。	215
23	公民館体育事業	中央公民館	参加人数を増やすために、大会の土日祝日開催を検討します。 体育種目について、すべての年齢層が参加できる種目内容とします。 自治会単位ではなく、公民館単位での参加を地区に検討してもらいます。 地域の意見を聴き、地域のコミュニケーションに対応した魅力ある事業とします。	151
24	ゴルフのまちづくり推進事業	スポーツ振興課	市内ゴルフ場に対し、ゴルフのまちづくりにふさわしいサービス提供を依頼します。 ゴルフ客のみならず、その家族も楽しめる行事を検討します。 大田原ゴルフ連盟にジュニアゴルフクラブ設立を要請します。 市主催のゴルフ大会での参加費を値下げします。	改善効果算定不可
25	屋内温水プール管理事業	スポーツ振興課	次回の指定管理の選考では広く公募を行います。 現在の利用時間区分について検討します。 健康政策課、高齢者幸福課と連携した講座新設を検討します。	19,287
26	市有財産管理事務	財政課	公売業務の民間委託を検討します。 命名権(ネーミングライツ)、広告収入、自販機の公募などを検討し、新たな財源の確保につなげていきます。 官民パートナーシップ(PPP)によるファシリティマネジメント(FM)について検討します。	7,190
27	こども医療助成事業	国保年金課	事務の効率化改善のため、現物給付を検討していきます。 現物給付の年齢拡大について検討を続けていきます。	26,080
28	太陽光発電システム設置事業	生活環境課	設置費用に対する補助金額を見直します。	5,472
29	公道区域内給水管布設事業	水道課	給水管布設の申し込みをして、その後未接続の者に対して、接続催促の通知を行います。	184
30	3・3・2号大田原野崎線道路改良事業	道路建設課	用地交渉時の重要事項について、書面での確認を実施します。	改善効果算定不可
31	橋梁維持事業	道路維持課	橋梁などの「安全性の確保」の判断基準と、安全・安心な橋梁の公表を検討していきます。 橋梁の維持管理について、将来外部委託を検討していきます。	
32	中心市街地活性化事業	まちづくり推進課	トコトコ大田原1階店舗を、「気軽に入れる店」となるように誘導していきます。 大田原市の優れたところ、優れたものについて、発掘し、発信し、誘客できるようにしていきます。	
計	32事業	22課		76,948